

2025年12月期
第3四半期
決算説明資料

SEYFORT

株式会社セイファート
東証スタンダード
(証券コード：9213)

2025年11月13日

1. 当社グループ概要	-----	3
2. 2025年12月期 第3四半期決算概要	-----	7
3. 2025年12月期の施策 及び通期の見通し	-----	17
4. 株 主 還 元	-----	23
5. A p p e n d i x	-----	25

1

当社グループ概要

当社グループ概要



会社名 株式会社セイファート
(英語表記) SEYFERT LTD.

設立 1991年7月

所在地 東京都渋谷区渋谷3-27-11

従業員数 130名 (2025年9月末現在 当社グループ)

代表 代表取締役社長 長谷川 高志

拠点 本社：東京都渋谷区
東海ブランチ：愛知県名古屋市中区
関西ブランチ：大阪府大阪市西区

関係会社 SEYFERT International USA, Inc.
米国カリフォルニア州ロサンゼルス郡トーランス市

私たちのミッションは、

「美容に携わるひとたちと共に、
世の中にあたらしい価値を創造すること」

美容にはもっともっと大きな可能性がある

その秘められた可能性を開拓し、具現化することで、
世の中はきっと変えられる

私たちは美容を通して、よりよい未来創造のための原動力となります

当社グループ事業とサービス

当社グループは「**サロンサポート事業**」の単一セグメントであり
提供する商品のサービス内容から**3サービス**に分類して開示しております

広告求人サービス

美容師・美容学生向け求人情報サイト

re-request/OJnavi

新卒 re-request/OJnavi



美容学生向け
合同会社説明会

re-request/OJ
就職フェア



美容学生向け就職情報誌

re-request/OJ
FOR ROOKIES



美容室プロモーションメディア
タブレット・レンタル

beauqet



2025年12月期
3 Q 累計



紹介・派遣サービス

美容師
人材紹介
re-request/OJ
agent



美容師
人材派遣
re-request/OJ
casting



ヘアメイク
手配
SEYFERT
Hair Make



※

教育(その他)サービス

資格証明

City
Guilts
ASSURED



海外研修

SEYFERT
LEARNING
PROGRAMME | by
City &
Guilts



海外美容室運営

PIA
HAIR SALON



※ 教育(その他)サービスは、「海外研修」好調のため3サービス中2位のシェアに向上

2

2025年12月期 第3四半期決算概要

2025年12月期 第3四半期累計業績ハイライト

「re-request/QJ navi」等の売上高減少により各区分損益で減益
2025年2月14日に公表した通期業績予想を達成することは困難と判断し、通期業績予想を下方修正

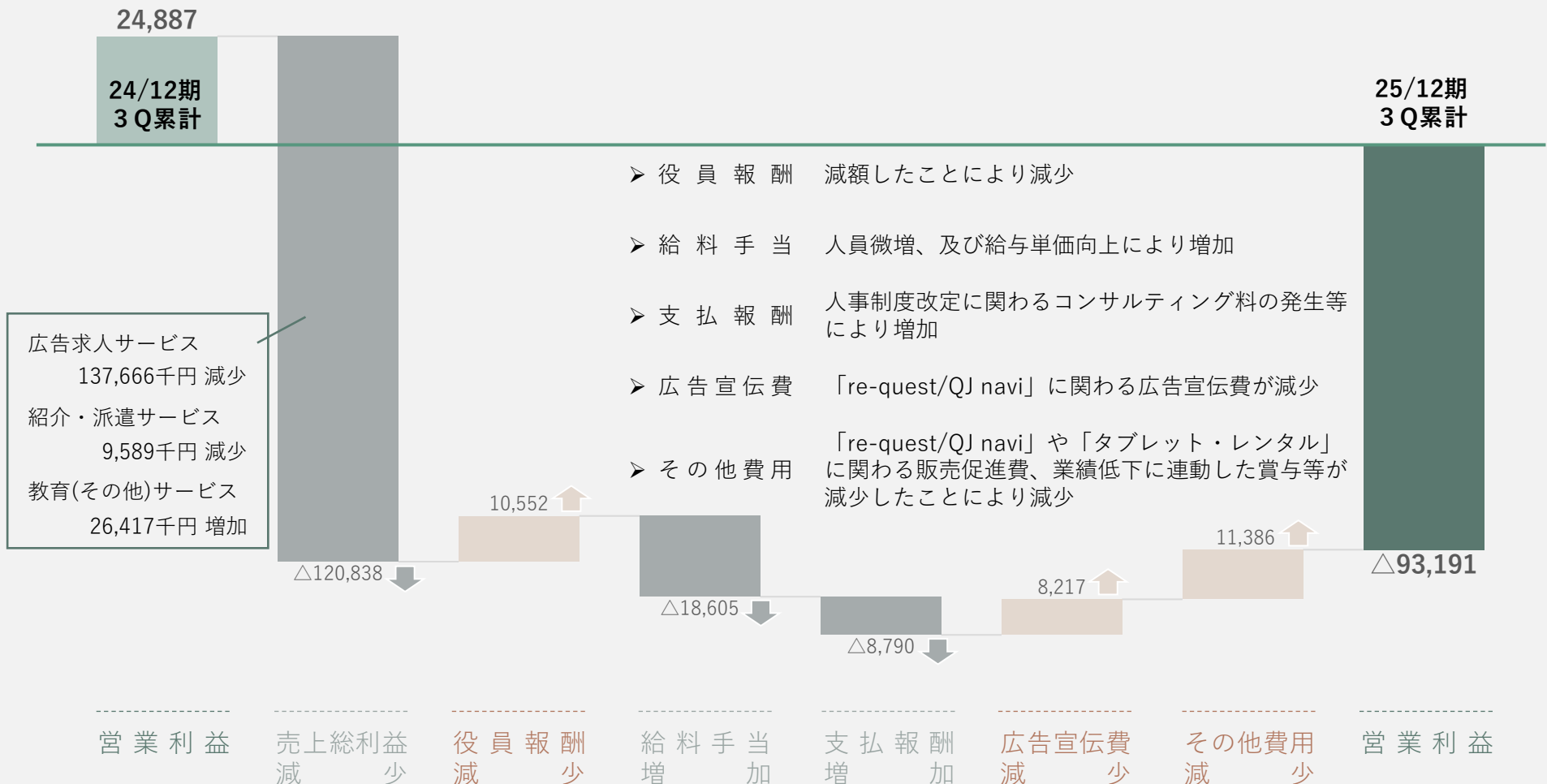
(単位：千円)

	24/12期 3Q累計		25/12期 3Q累計		増減	
		(売上高比)		(売上高比)		(前年同期比)
売上高	1,592,813	100.0%	1,429,823	100.0%	△ 162,989	89.8%
売上総利益	937,472	58.9%	816,634	57.1%	△ 120,838	87.1%
販売費及び一般管理費	912,585	57.3%	909,825	63.6%	△ 2,759	99.7%
営業利益	24,887	1.6%	△ 93,191	△6.5%	△ 118,078	—
経常利益	27,151	1.7%	△ 94,791	△6.6%	△ 121,943	—
四半期純利益	17,428	1.1%	△ 128,033	△9.0%	△ 145,461	—

営業利益の増減（前年同期比）

営業利益は、売上総利益が大きく減少したことにより、前年同期を下回る

（単位：千円）



2025年12月期 通期業績予想(2025年11月7日修正)

第3四半期までの進捗状況と今後の見通しを踏まえ、通期業績予想を下方修正
なお、期末配当予想に変更はありません

(単位：千円)

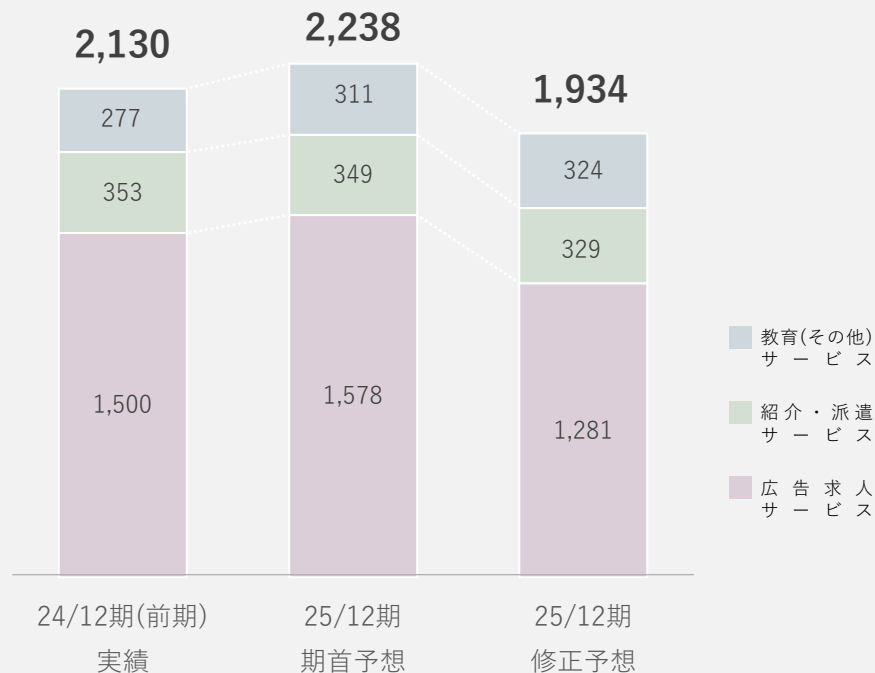
	25/12期 期首予想		25/12期 修正予想		増減		対前年同期 増減	
		(売上高比)		(売上高比)	(期首予想比)		(前年同期比)	
売上高	2,238,767	100.0%	1,934,085	100.0%	△ 304,682	86.4%	△ 196,517	90.8%
売上総利益	1,349,745	60.3%	1,109,205	57.4%	△ 240,540	82.2%	△ 128,851	89.6%
販売費及び 一般管理費	1,279,049	57.1%	1,206,703	62.4%	△ 72,346	94.3%	△ 9,692	99.2%
営業利益	70,695	3.2%	△ 97,499	△5.0%	△ 168,194	—	△ 119,160	—
経常利益	67,711	3.0%	△ 99,792	△5.2%	△ 167,503	—	△ 128,120	—
当期純利益	46,052	2.1%	△ 134,393	△6.9%	△ 180,445	—	△ 155,244	—

通期業績予想下方修正 – サービス別売上高及び売上総利益

売上回復が遅れている「re-request/QJ navi」、当期は未だ大型案件が受託できていない「beauquet」を含む広告求人サービスが低調に推移する見込み
教育(その他)サービスは引き続き売上高、売上総利益を増加させる

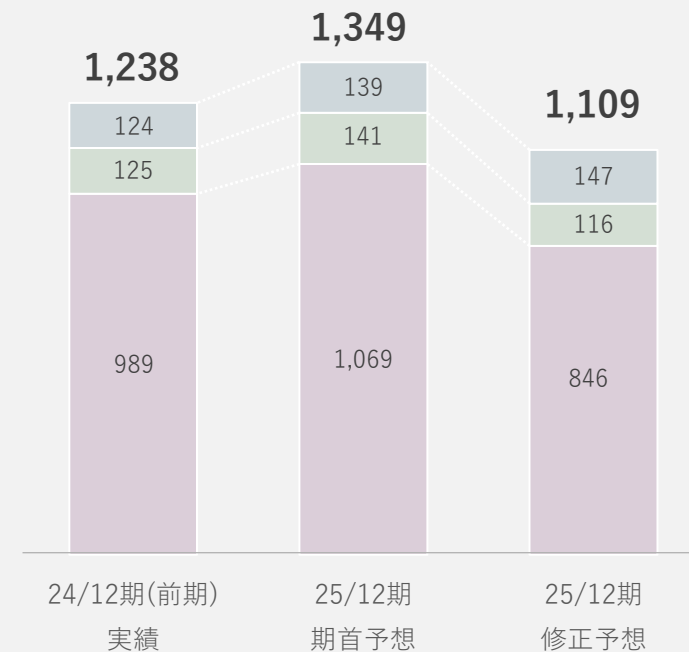
売上高

(単位：百万円)



売上総利益

(単位：百万円)



通期業績予想下方修正 – 商品別要因

「海外研修」が大きく伸長したものの、基幹商品の「re-request/QJ navi」、及び大型案件受託が遅れている「beauquet」の低調推移を補填できず

広告求人
サービス

美容師向け求人情報サイト
re-request/QJ navi

基幹商品である当商品は、ユーザーの応募件数が更に増加することでクライアントからの広告掲載増加を見込んでいた。しかし**応募件数獲得のペースが想定を下回った**ことにより、クライアント満足度の向上、及びリピート率の向上に課題が残り**掲載単価が低下**したことで大きく減収減益。第3四半期累計で販促キャンペーンを実施するも前年同期の掲載件数に僅かに届かず

- ✓ 第3四半期（7月～9月）の掲載件数は前年同期比**103.4%**と増加傾向であり、第4四半期も引き続き各種販促キャンペーンの拡販に注力
- ✓ 新たなMAツールを導入し、**応募件数の増加に努める**

25/12期 3Q累計
応募件数は
予想比 **63.9%**

25/12期 3Q累計
掲載単価は
前年同期比 **85.5%**

25/12期 3Q累計
掲載件数は
前年同期比 **95.1%**

美容室プロモーションメディア

beauquet

前期の大型案件が当期は第3四半期まで受託できず、**案件数が減少、案件単価が前年同期から半減**したことで減収減益

- ✓ 大型案件の年内受託を目指し引き続き営業活動に注力しつつ、**SNSインフルエンサーマーケティングの拡大**にも努める

25/12期 3Q累計
案件数は
前年同期比 **80.9%**

25/12期 3Q累計
案件単価は
前年同期比 **45.4%**

教育(その他)
サービス

海外研修

SEYFERT
LEARNING
PROGRAMME | by
City &
Guilts

英国からの来日研修の実施回数が前年同期を大きく上回ったことで増収増益、グループ業績へ大きく貢献

25/12期 3Q累計
海外研修実施回数は
15回 (前年同期は5回)

広告求人サービス サマリー

「新卒採用商品」は堅調に推移したものの、「re-request/QJ navi」は回復途上であり、「beauquet」は大型案件の時期ずれにより、売上高及び売上総利益は前年同期を下回る

	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	増減	(単位：千円) (前年同期比)
売上高	1,120,091	923,746	△ 196,345	82.5%
売上総利益	746,634	608,968	△ 137,666	81.6%

新卒採用商品



前期は第3四半期に発行した美容学生向け就職情報誌「re-request/QJ FOR ROOKIES」を当期は第4四半期へと変更し一時的な低調要因となる。しかしながら、大規模な「re-request/QJ 就職フェア」を全国各地で開催したこと、及び「re-request/QJ navi 新卒」も掲載件数が増加。両商品は前年同期を上回り、全体としては堅調に推移



beauquet

美容室プロモーションメディア



前年同期に受託した大型プロモーション案件が当期は第4四半期以降に時期ずれしたことで、案件数、及び案件単価が前年同期を下回り低調に推移しかしながら、中期的には案件数、及び案件単価ともに成長基調

re-request/QJ navi

美容師向け求人情報サイト



SEO対策等の応募件数増加施策を継続して実施しているものの、応募件数獲得のペースが想定を下回る。一方で、掲載件数は第3四半期累計で販促キャンペーンを継続的に実施しており前年同期比95.1%まで回復、当第3四半期は前年同期比で増加に転じる。しかしながら、比較的掲載単価が高い既存掲載件数が減少していること等により、低調に推移

紹介・派遣サービス サマリー

「re-request/QJヘアメイク」は好調に推移したものの、「re-request/QJ casting」の低調により、売上高及び売上総利益は前年同期を下回る

	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	増減	(単位：千円) (前年同期比)
売上高	273,632	250,335	△ 23,296	91.5%
売上総利益	99,159	89,569	△ 9,589	90.3%

SEYFERT

Hair Make

ヘアメイク手配

美容家電メーカー等からの案件、及びスポーツブランドからのイベント案件等の比較的高単価な案件を多く獲得できたこと等により、好調に推移

re-request/QJ

agent

美容師人材紹介

通常紹介での最終的な成約数が前年同期を下回ったものの、人材紹介とWeb採用プロモーションのセット販売は引き続き好調だったこと等により、堅調に推移

re-request/QJ

casting

美容師人材派遣

美容師の働き方の多様化により、美容室経営企業へ派遣した美容師数、及び派遣日数が減少。また、退職給付費用を含む派遣美容師の人件費が上昇したこと等により売上総利益率が低下し、低調に推移

教育(その他)サービス サマリー

「海外研修」、「資格証明」、及び米国カリフォルニア州の美容室「PIA HAIR SALON」が好調に推移したことにより、売上高及び売上総利益は前年同期を上回る

(単位：千円)

	24/12期 3Q累計	25/12期 3Q累計	増減	(前年同期比)
売上高	199,089	255,741	+56,652	128.5%
売上総利益	91,678	118,096	+26,417	128.8%



海外研修

英国教育機関「City & Guilds」との関係性を活かして前期から開始した英国からの来日研修の回数が増加したこと、及び実施単価が大幅に向上したことにより、当第3四半期累計業績に大幅に貢献



資格証明

産学協同に資する当プログラムの導入美容学校数、賛同美容室経営企業数、及び認定試験官（エグザミネーター）数が安定的に増加したこと等により、好調に推移



米国美容室運営



米国カリフォルニア州にて運営する美容室2店舗において、稼働美容師数の増加に伴い顧客数が増加、及び顧客単価が向上したことにより好調に推移

連結貸借対照表

区分	科目	24/12期 期末時点	25/12期 3Q末時点	増減	主な増減要因 (単位：千円)
	流動資産	1,315,716	1,156,571	△159,145	
	うち 現金及び預金	1,073,318	967,922	△105,396	24/12期期末配当、25/12期中間配当、ソフトウェア投資等により減少
	うち 売掛金	101,472	67,555	△33,916	24/12期末「beauquet」売掛金回収等により減少
	固定資産	429,582	377,861	△51,720	
	うち 有形固定資産	43,681	42,896	△785	減価償却費の計上により減少
	うち 無形固定資産	206,316	183,701	△22,615	減価償却費の計上により減少
	うち 投資その他の資産	179,584	151,264	△28,319	繰延税金資産の一部取崩しにより減少
	資産合計	1,745,298	1,534,433	△210,865	
	流動負債	490,363	447,832	△42,531	
	うち 短期借入金※	14,185	2,500	△11,685	1年内返済予定の長期借入金約定返済により減少
	うち 契約負債	260,563	291,313	30,749	「新卒採用商品」の前受金等により増加
	固定負債	172,765	185,626	12,860	
	うち 退職給付に係る負債	164,832	171,481	6,649	
	負債合計	663,128	633,458	△29,670	
	純資産合計	1,082,170	900,974	△181,195	親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、及び24/12期期末配当、25/12期中間配当により減少
	負債純資産合計	1,745,298	1,534,433	△210,865	

※ 短期借入金には、1年内返済予定の長期借入金を含む

3

2025年12月期の施策及び通期の見通し

2025年12月期の施策及び通期の見通し – 「re-request/QJ navi」

当期の主要KPIとしている総掲載件数は、第3四半期(7月～9月)で前年同期比103.4%と上回って推移している。応募件数獲得のペースが想定を下回る

掲 載 件 数^{※1}

応 募 件 数

現
状

- ✓ 総掲載件数は前年同期との乖離幅を低減し回復傾向に
- ✓ 掲載店舗数^{※2}は前年同期を大きく超え7千店超をキープ

25/12期 3Q累計
総掲載件数は

予 想 比 **70.4%**
前年同期比 **95.1%**

- ✓ 競合他社との競争激化に伴い、応募件数獲得のペースが想定を下回り、未だ課題を残す
- ✓ 広告宣伝を引き続き実施しつつ、広告効果の改善に努める

25/12期 3Q累計
応募件数は

予 想 比 **63.9%**

通
期
の
見
通
し

- ✓ 第3四半期の総掲載件数は前年同期比103.4%と増加傾向であり、第4四半期も引き続き各種販促キャンペーンの拡販に注力
- ✓ これまでの販促キャンペーン効果により、**通期の新規掲載件数は前期を上回る見込み**
- ✓ 営業人員の育成にも引き続き取組み、**商談件数の増加、及び受注率の向上**に努める
- ✓ 掲載件数、応募件数の積上げによる**サイトパワーの回復**に努め、**ユーザー・クライアント双方にとって有益なサイトを目指す**

- ✓ **新たなMAツールを導入し、SNS配信機能を強化することで、顕在層や準顕在層の新たな会員を増加させ、応募件数の増加、及びCVRの向上を目指す**
- ✓ 離脱が比較的少ないオーガニック流入を増加させるため、「re-request/QJ navi」の**認知度や信頼度を高める広告宣伝**を実施
- ✓ Webマーケティングの更なる強化に向け**専門人材招聘等の活動を継続**

※1 掲載件数とは、掲載している企業数を指します。

※2 掲載店舗数とは、企業が掲載している店舗数の合計のことを指します。

2025年12月期の施策及び通期の見通し - 「新卒採用商品」

「re-request/QJ FOR ROOKIES」は一時的な低調要因があったものの、
 「re-request/QJ 就職フェア」、及び「re-request/QJ navi 新卒」は好調に推移
 「新卒採用商品」全体では堅調に推移

現
状

- ✓ 応募件数は前年同期比**131.8%**と引き続き好調に推移
- ✓ 掲載件数は本掲載に加え、オプション販売に注力したこと等により前年同期比では好調に推移

25/12期 3Q累計
掲載件数は

前年同期比 **127.1%**

25/12期 3Q累計
オプション掲載件数は

前年同期比 **158.7%**

- ✓ 一部のオンラインフェアをリアルフェアへ移行したこと等により**出展単価が前年同期比105.1%と向上**し、売上高は前年同期比で**好調に推移**
- ✓ 来場者はいくつかの大規模会場で前年同期を下回ったこと等により、累計来場者数は僅かに前年同期を下回る

25/12期 3Q累計
来場者数は

前年同期比 **93.8%**

通
期
の
見
通
し

- ✓ 掲載件数は増加しているものの、掲載単価は前年同期を若干下回っており、**オプション販売、掲載プランのタイプアップ**等の販売に引き続き注力
- ✓ 前期は9月に発行した美容学生向け就職情報誌「re-request/QJ FOR ROOKIES」を当期は10月に発行し、「**新卒採用商品**」の**売上を更に増加させる**



- ✓ 11月には2027年3月卒業予定美容学生向けに**東京、大阪、福岡等で「re-request/QJ 就職フェア」を開催予定**
- ✓ 美容学校単位での就職ガイダンスを追加開催、当社初の岡山会場での開催を予定する等、**更なる売上増加、及び来場者数増加を見込む**

2025年12月期の施策及び通期の見通し - 「beauquet」 × 「タブレット・レンタル」

プロモーションメディア「beauquet」は前期に受託した大型案件の時期ずれにより、案件数、案件単価ともに前年同期を下回って推移
「タブレット・レンタル」の広告案件数は継続的に増加し、**売上総利益率が向上**

美容室プロモーションメディア



beauquet

美 容 師
インフルエンサー
マーケティング
**Beauty
Fame**

現
状

- ✓ 大型案件が未受注のため、案件数、及び案件単価は前年同期を下回っているものの、売上は25/12期3Q累計から継続して成長基調
- ✓ 「タブレット・レンタル」はプロモーション広告案件を獲得したこと等により**売上総利益率が前年同期を上回る**

25/12期 3Q累計
beauquet案件数は前年同期比 **80.9%**25/12期 3Q累計
beauquet案件単価は前年同期比 **45.4%**

- ✓ 「beauquet」の一環として実施している美容師インフルエンサーマーケティング「Beauty Fame」の**案件数は好調に推移**
- ✓ 注目度が高いドライヤーの使い心地レビューや子どもの夏休みを活用した「チャリティ・ヘアカット」等の案件を獲得し、「beauquet」全体の売上に貢献

通
期
の
見
通
し

- ✓ 「beauquet」の**リピート率は概ね予想どおりに推移**しており、更なる売上総利益率の向上を目指し、メーカーとの直取引案件開拓に引き続き取り組む
- ✓ 当社の強みのひとつである**美容学生との関係性**(City & Guildsプログラム、及び「request/Q」就職フェア)関連)を活かした**クロスセルを展開**し、売上増加を見込む

- ✓ 「Beauty Fame」は案件単価がまだ小さく、全社グループへの業績貢献は限定的だが、**成長戦略「beauquet」の商品ラインナップを拡大**すべく、販売活動を一層強化
- ✓ 「Beauty Fame」の案件単価向上に向けて、**登録美容師数、及び総フォロワー数の増加に努める**

2025年12月期の施策及び通期の見通し – 紹介・派遣サービス

「re-request/QJヘアメイク」は**案件単価向上、案件数増加**で好調に推移
 「re-request/QJ agent」は**セット商品の販売が好調なもの**の、**成約数が伸び悩む**
 「re-request/QJ casting」は**前年同期比で低調**となるも**当期想定は上回る**

現
状

- ✓ 美容家電メーカーやスポーツブランドからの**企業案件**を獲得し**案件単価が向上**
- ✓ 全国各地の花火大会で浴衣ヘアセットの**案件を実施**

25/12期 3Q累計

案件単価は
前年同期比 **106.9%**

通
期
の
見
通
し

- ✓ 第4四半期は、1千名を超えるお子様の**七五三**が控えており、**更なる売上増加を見込む**
- ✓ **継続的に企業案件**を獲得できており、**通期を通して安定的に売上が増加傾向**



- ✓ Web登録者数、面談数は増加したものの**通常紹介は最終成約数が伸び悩む**
- ✓ 人材紹介とWeb採用プロモーションの**セット商品は継続して販売好調**

25/12期 3Q累計

Web登録人数は

前年同期比 **145.9%**

25/12期 3Q累計

面談数は

前年同期比 **409.0%**

- ✓ 増加した面談数を最終的な成約に繋げるため、引き続き**求人件数、及びクライアント・バリエーションの増加に努める**
- ✓ 「re-request/QJ navi」とのハイブリッド商品拡販に引き続き注力し、**求人件数の増加に努める**



- ✓ 美容師の働き方が多様化したことで、派遣を希望する美容師の減少傾向が続き、美容室経営企業へ派遣した美容師数等が**前年同期比で減少**

25/12期 3Q累計

派遣美容師数は

前年同期比 **91.2%**

- ✓ 売上高、及び売上総利益は**通期で想定どおり進捗**
- ✓ 引き続き**派遣美容師数の増加等に注力する**

2025年12月期の施策及び通期の見通し – 教育(その他)サービス

「海外研修」は実施回数、及び実施単価ともに前年同期を大きく上回り好調推移
 「資格証明」、及び「PIA HAIR SALON」も好調推移しており、教育(その他)
 サービス全体で全社業績を牽引

現
状

- ✓ 英国教育機関「City & Guilds」との関係性を活かして前下期から開始した、英国からの来日研修が増加したことで参加者数や実施単価が大幅に向上

25/12期 3Q累計
実施回数は

15回

前年同期は5回

通
期
の
見
通
し

- ✓ 2025年9月から2026年8月の来日研修の誘致活動を引き続き実施し、現時点で約10校およそ250名(当年同期比111.4%)が来日予定
- ✓ 日本の美容学生が韓国や英国へ行く海外研修も第4四半期にて実施予定



- ✓ 8月には新たにプログラム導入美容学校が増加
- ✓ 他にも賛同美容室経営企業、認定試験官(エグザミネー)等が安定的に増加しており、プログラムの普及が進む

25/12期 3Q累計 25/12期 3Q累計
導入美容学校数は 認定試験官数は

前年同期比110.5% 前年同期比181.8%

- ✓ 11月に美容学校や美容室経営企業関係者を対象とした「産学連携勉強会」を東京・大阪にて開催予定
- ✓ 10月より「7つの習慣×セルフコーチング」の提供を開始、美容学校関係者等への研修実施



- ✓ 稼働美容師数の増加に伴い、顧客数が増加

25/12期 3Q累計 25/12期 3Q累計
顧客数は 顧客単価は

前年同期比106.3% 前年同期比101.3%

- ✓ 顧客数の継続的な増加、及び高単価メニュー実施による顧客単価の高単価維持により、今後も安定的に推移していく見込み

4

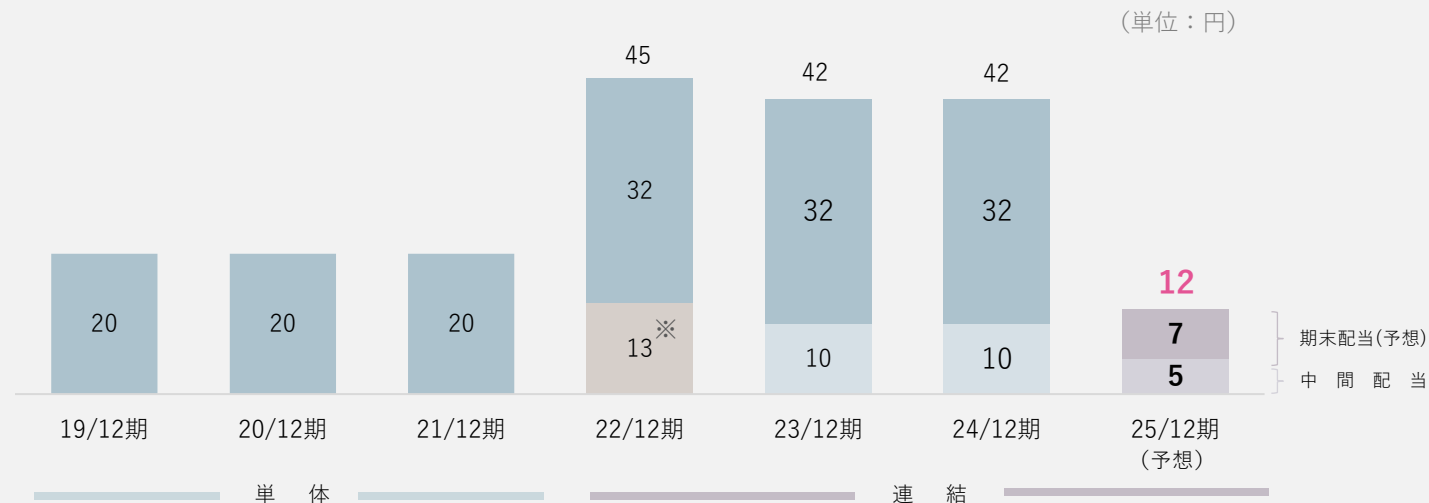
株主還元

株主還元

当社は、株主還元について、重要な経営課題のひとつとして認識し、将来の成長のための投資や事業展開の状況、経営成績、及び財務状況等を考慮しながら、安定的且つ継続的な配当を実施していく方針であります。

2025年12月期の中間配当金につきましては、上記方針に基づき、1株当たり5円の普通配当を実施いたしました。

期末配当につきましては、通期業績予想は下方修正したものの、上記のとおり安定的且つ継続的な配当として1株当たり7円とする配当予想に変更はございません。



※ 2022年12月期中間配当は上場記念配当として実施いたしました。

当社は、2021年10月6日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2019年12月期、2020年12月期、2021年12月期の一株当たり配当額については、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出したしております。

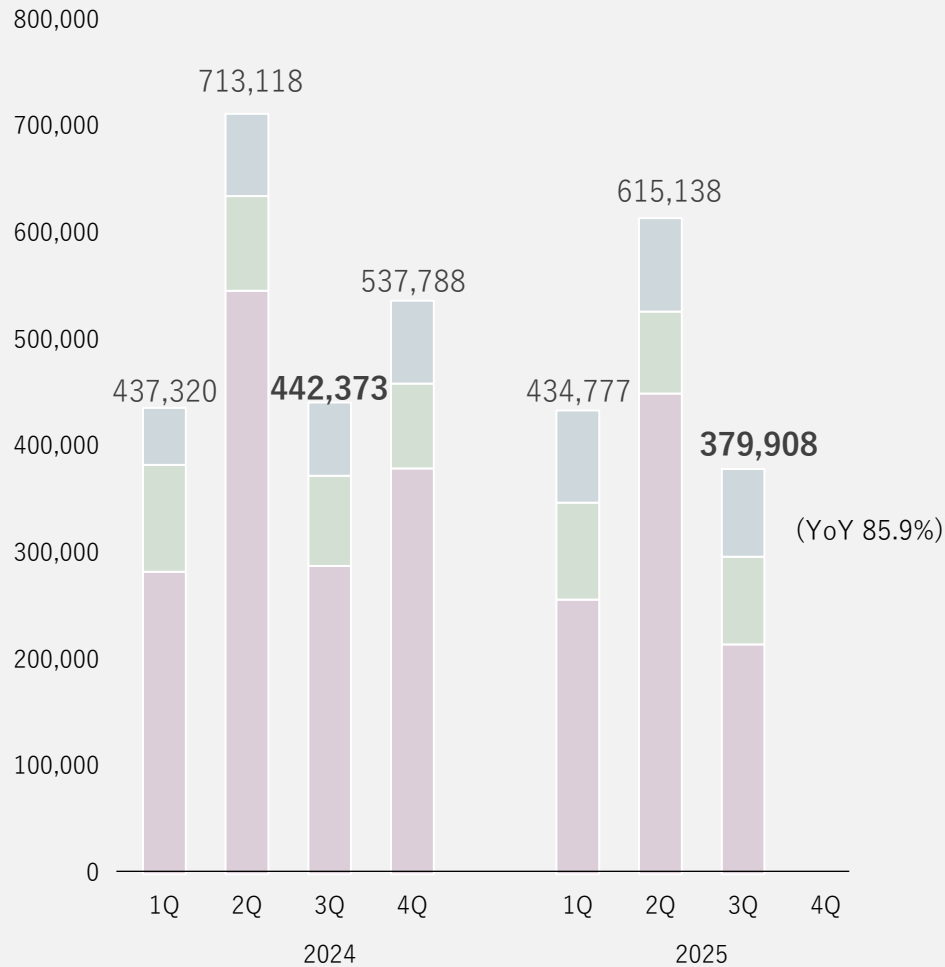
5

Appendix

四半期売上高・売上総利益の推移

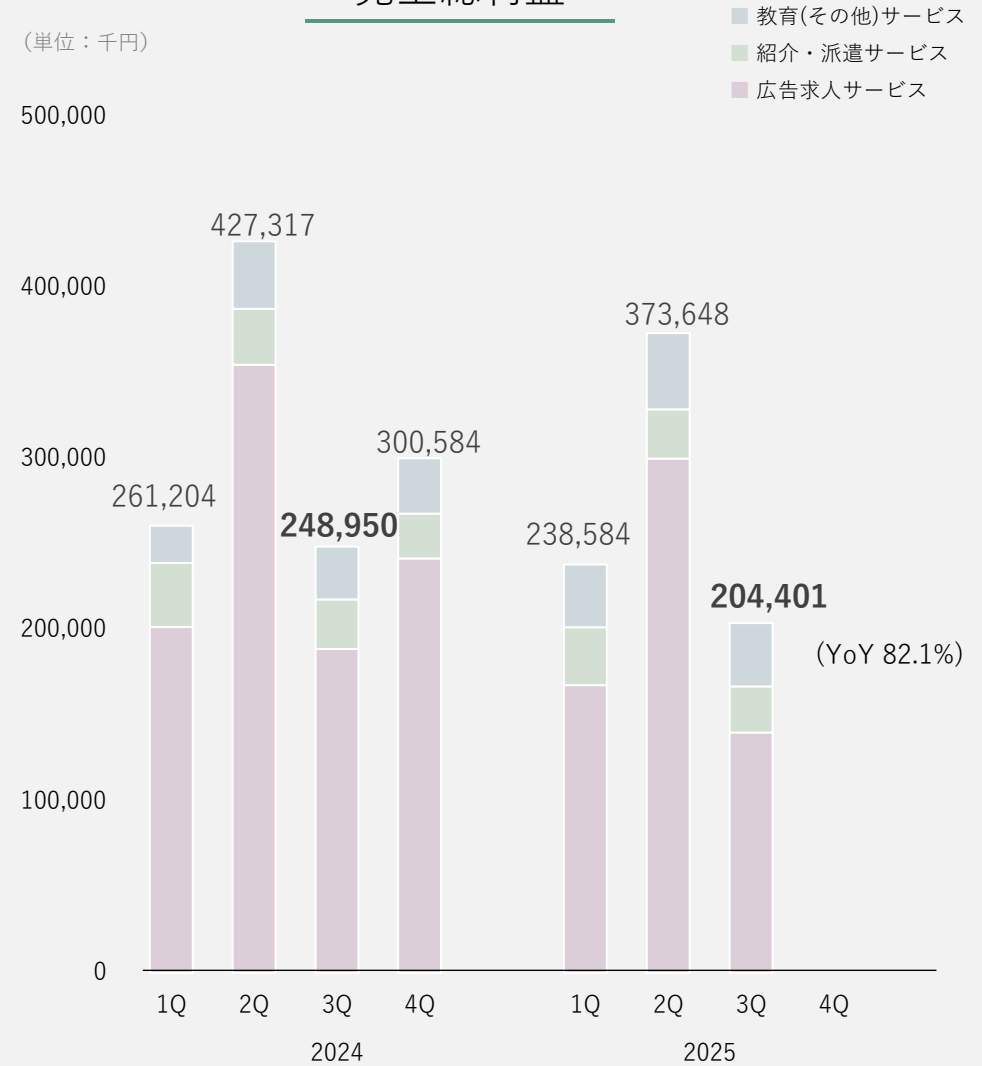
売上高

(単位：千円)



売上総利益

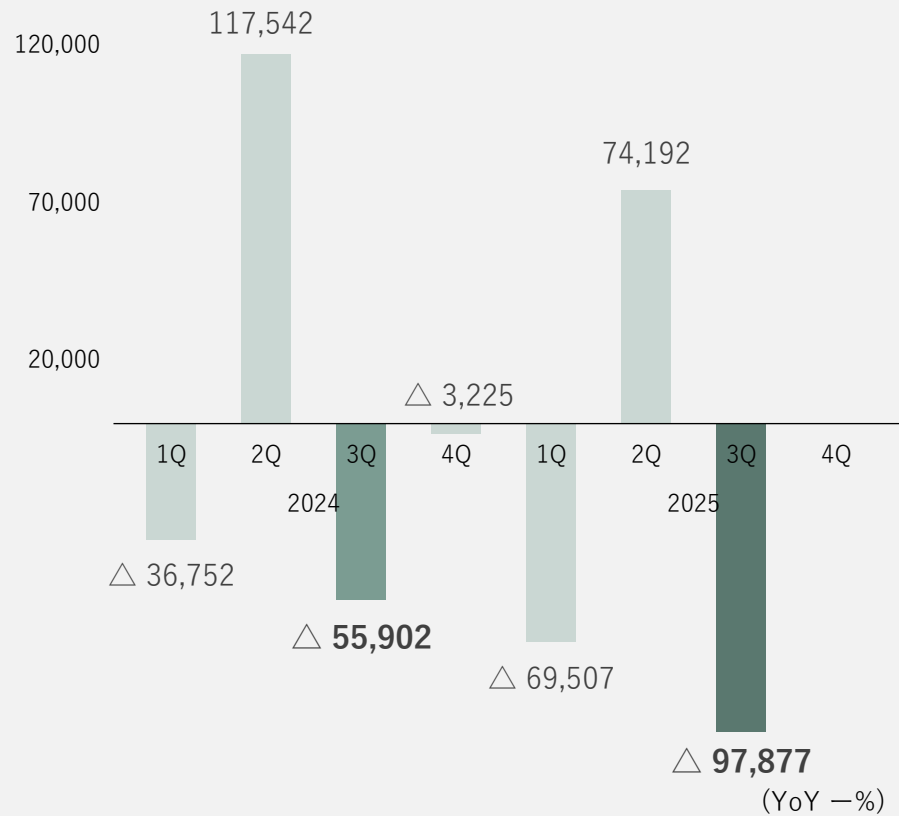
(単位：千円)



四半期営業利益・純利益の推移

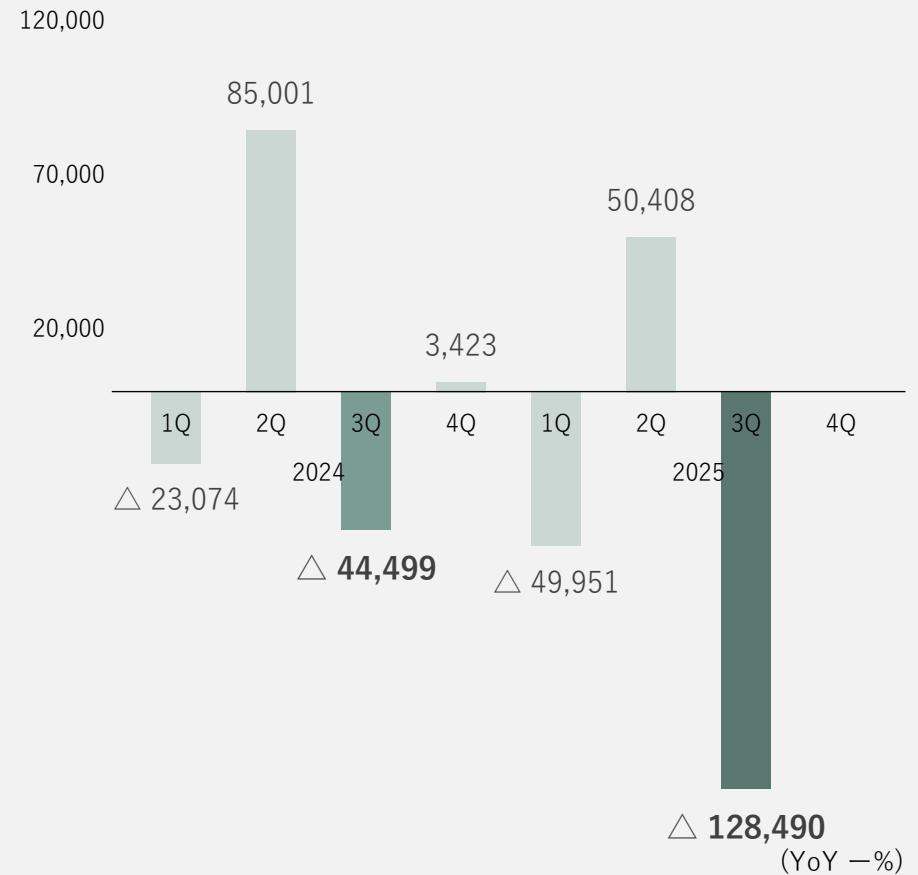
四半期営業利益

(単位：千円)



四半期純利益

(単位：千円)



SDGsの取組み

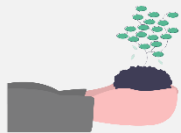
当社グループは、国連が提唱した「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、美容業界へのサポート事業を通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります

15 陸の豊かさも
守ろう



不織布バッグをよりエコに

23/12期から「re-request/Q」就職フェア」開催時に来場者へ配布するショッパーをエコマーク認証付き再生不織布製※へ変更し、使い捨てではなく、リユース可能な素材とすることで、リサイクルに努める



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



美容師の就労、美容
学生の就学サポート

出産や育児、介護等でブランクのある美容師を当社の派遣美容師として雇い入れ、希望に沿った就労環境を提供できるよう、美容師人材派遣「re-request/Q casting」を通じてサポート

美容学校に通う際に一定数の学生が利用する、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の財源となるソーシャルボンドへ投資を行う(2025/11/20 償還予定)



5 ジェンダー平等を
実現しよう



女性が活躍する社会

当社グループは女性比率が高く、職場復帰プログラムや育児短時間勤務制度等、女性が働きやすい環境整備に努める女性役員比率も一定以上の水準を保っている

女性比率

全従業員	62.3%
役員 (執行役員含む)	23.1%

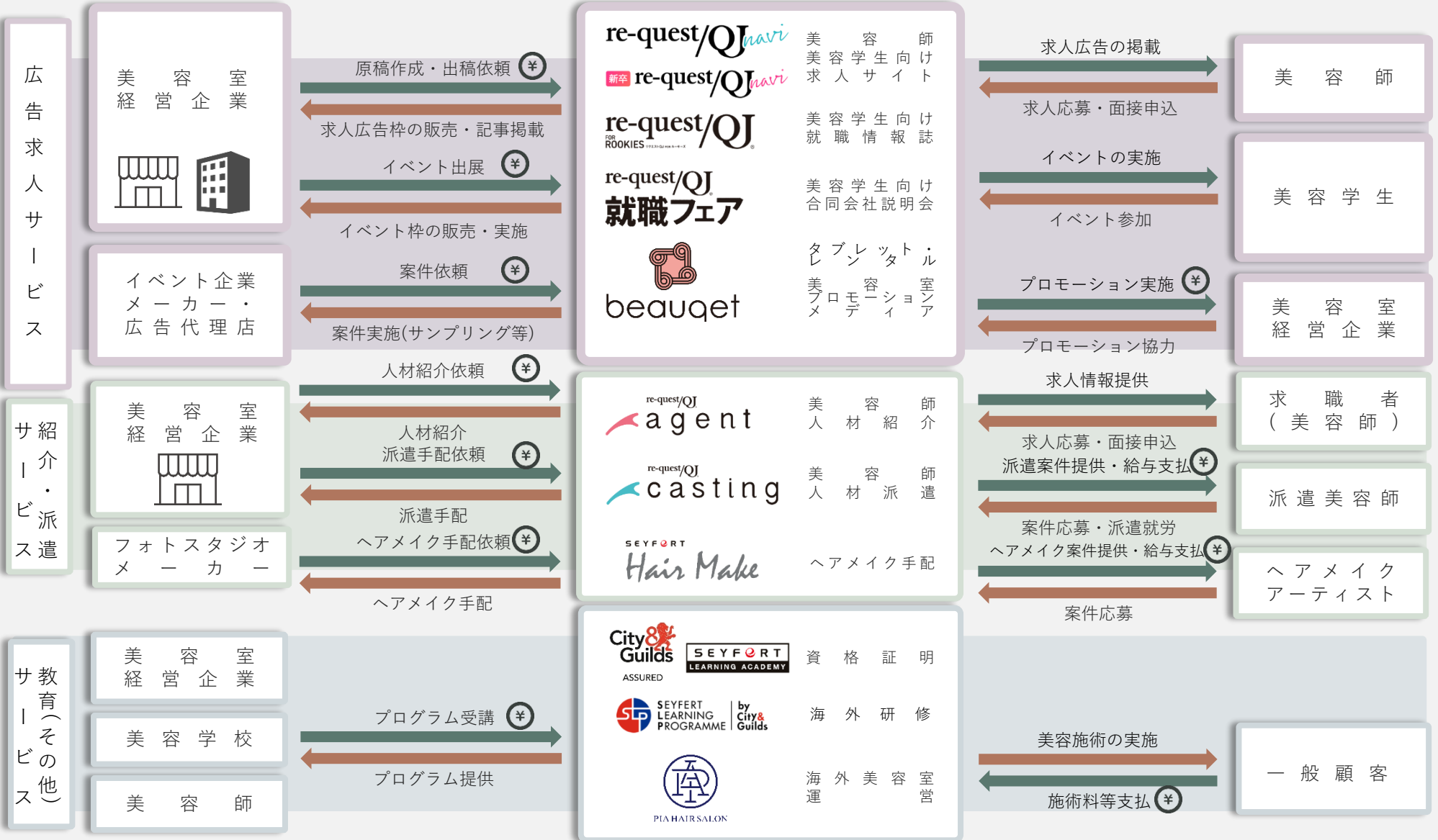
※ 2025年9月末時点

サービス別 事業系統図

クライアント

株式会社セイファート

ユ ー ザ ー



沿革

1991年	3月	美容業界専門の就職情報誌「re-request/QJ」創刊
	7月	株式会社セイファートを設立 美容学生対象の合同会社説明会「re-request/QJ 就職フェア」開始
1999年	11月	株式会社ビーキャリアを設立(株式会社セイファート100%出資、美容師専門の人材紹介・派遣業の運営)
2003年	5月	大阪府大阪市に西日本支社(現：関西ランチ)設立
	10月	愛知県名古屋市に東海支社(現：東海ランチ)設立
2004年	3月	米国カリフォルニア州にSEYFERT International USA, Inc.設立(株式会社セイファート100%出資)
2006年	3月	SEYFERT International USA, Inc.が米国カリフォルニア州の美容室PIA HAIR SALONを買収
2007年	3月	美容師向け求人サイト「re-request/QJ navi」を開始
	11月	株式会社セイファートを株式会社セイファートホールディングスに社名変更 事業会社として株式会社セイファートを新会社として設立(新設分割)
2013年	1月	株式会社セイファートホールディングスと株式会社セイファート、株式会社ビーキャリア、株式会社HABIA JAPANの 4社を合併(存続会社：株式会社セイファートホールディングス)し、株式会社セイファートに社名変更
	4月	美容師人材紹介「re-request/QJ agent」美容師人材派遣「re-request/QJ casting」へブランドリニューアル
2015年	9月	英国教育機関「City & Guilds」と、日本・香港における独占的業務提携契約を締結 「Accreditation Programme(アクリディテーション プログラム)」を開始
2016年	2月	美容学生向け求人サイト「re-request/QJ navi 新卒」を開始
2017年	2月	英国教育機関「City & Guilds」と戦略的パートナーシップ契約を締結 「Technical Qualification(テクニカル クオリフィケーション)」を開始
	10月	美容師向け求人サイト「re-request/QJ navi」をフルリニューアル
2018年	9月	日々紹介サービス「re-request/QJ agent mini」を開始
2019年	3月	美容学生向け求人サイト「re-request/QJ navi 新卒」をフルリニューアル
	9月	英国教育機関「City & Guilds」と「Assured Programme(アシュアードプログラム)契約」を締結
2020年	5月	美容学生向け合同会社説明会「re-request/QJ 就職フェア」のオンラインフェアを開始
2021年	6月	美容師向け求人情報誌「re-request/QJ」を、雑誌からタブロイド誌へと刷新し、美容師向け総合情報誌にリニューアル
2022年	2月	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)に株式を上場(証券コード：9213)
	3月	美容師向け情報アプリ「QJ LIKE」をリリース
	4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行 「タブレット・レンタル」開始
2023年	2月	美容師向け求人サイト「re-request/QJ navi」のUI/UXを全面リニューアル
	8月	美容師向け求人サイト「re-request/QJ navi」の会員限定機能リリース
	12月	美容師向け情報アプリを「re-request/QJ」にリブランディング
2024年	3月	美容師・美容学生向け求人サイトの公式アプリ「re-request/QJ navi」をリリース
	11月	英国政府認定補助金を活用した来日研修を開始
2025年	3月	「健康経営優良法人 2025(大規模法人部門)」に初めて認定

ディスクレームー

本資料には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画等が記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料作成時点において入手可能な情報を基にした判断及び仮定に基づいて作成されたものであり、その正確性を保証するものではありません。

本資料は、公認会計士又は監査法人の監査の対象外であります。別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示いたしております。また、金額は千円未満切り捨て、それ以外を四捨五入で表示いたしております。

実際の業績は、これらの判断及び仮定に含まれる様々な不確定要素、リスク要因の変更や経済環境の変動などにより、見通しと大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。

本開示は、当社グループについての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する判断は、投資家の皆様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。